

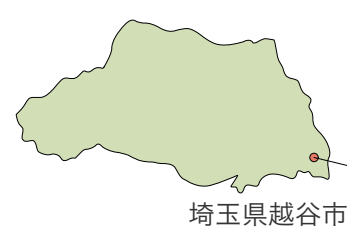
暮らしに水辺を

大相模調節池を中心に親水文化創造都市として発展してきた越谷レイクタウン。この水辺から敷地全体を巡るように水路を引き込み、住宅を区画する柔らかな境界線や、住民の出会いを誘発する場としての役割を与える。水辺を見て、渡り、共有して暮らす新しい住宅地を提案する。

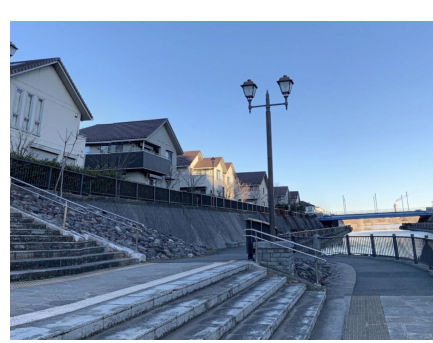
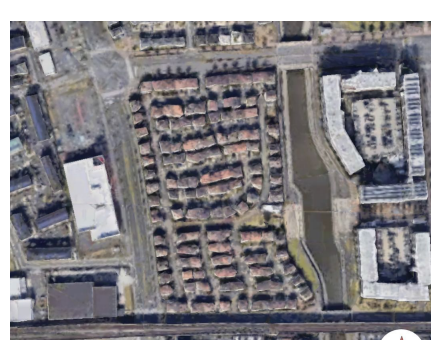
水路や隣人と多様な関わり方ができる住宅も合わせて設計した。



対象敷地



埼玉県越谷市 レイクタウン美環の杜
(戸建住宅街区132戸)
敷地面積 約32,000㎡
大規模な調節池である大相模調節池の水辺に面した住宅地に計画する。

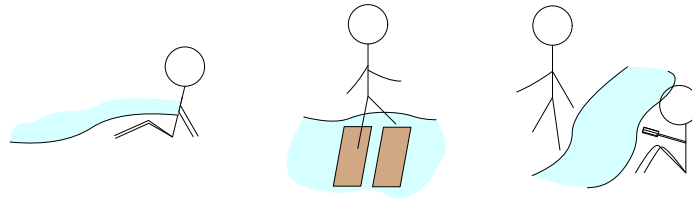


現在

住宅は比較的直線上に並べられている。
親水空間は住宅街横の階段スペースのみであり、
水辺との関わりは少ない。

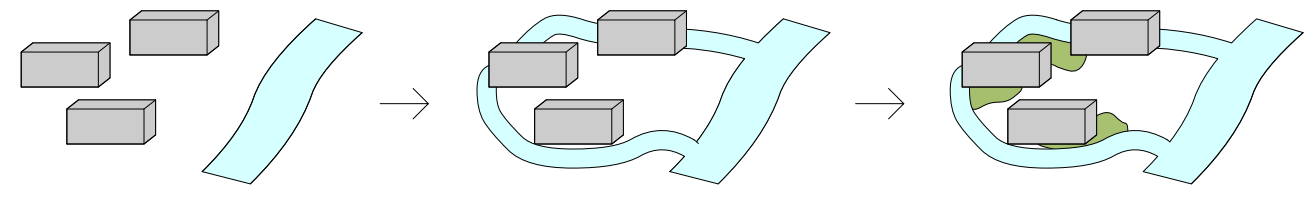
コンセプト

水辺を見る、渡る、共有する



日常生活に水辺を取り入れることで、
より身近に水辺を感じる新しい暮らし方

ダイアグラム



現在
水辺に並ぶ住宅

住宅地全体を繋ぐように
調節池から水路を引き込む

水辺をきっかけとして
住民が繋がる

コミュニティ

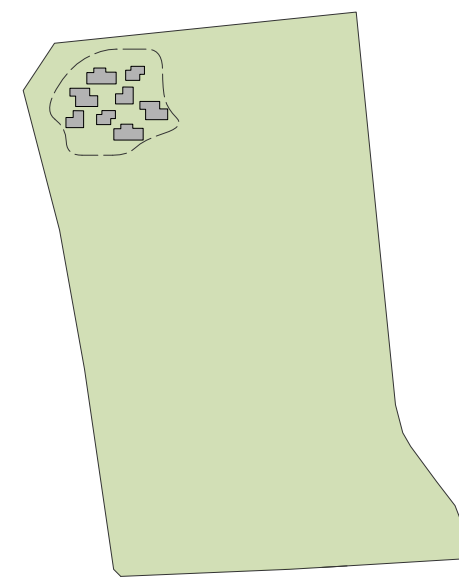
全96世帯を6つに分け、水辺、もの、空間を共有し、広がり、繋がる

8世帯

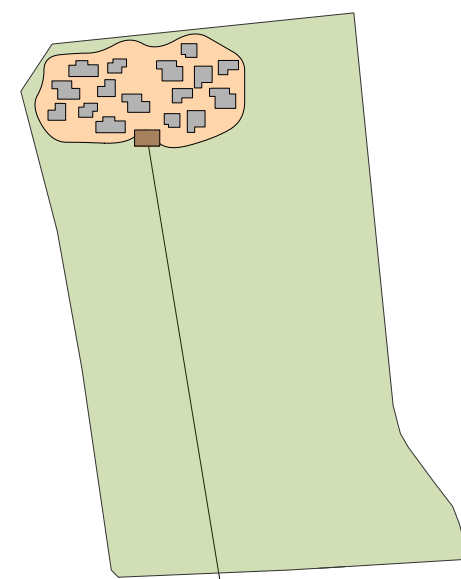
16世帯=1コモン

3コモン

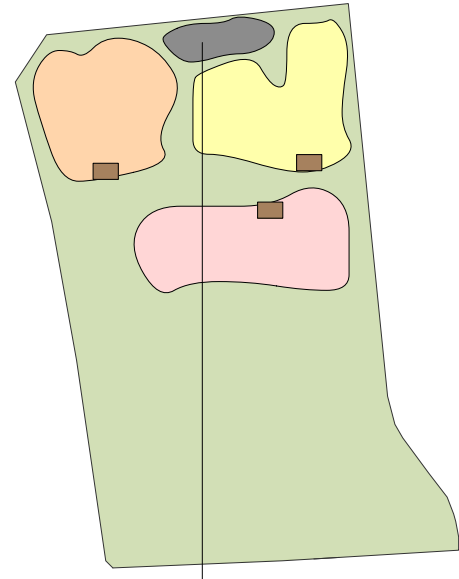
全96世帯=6コモン



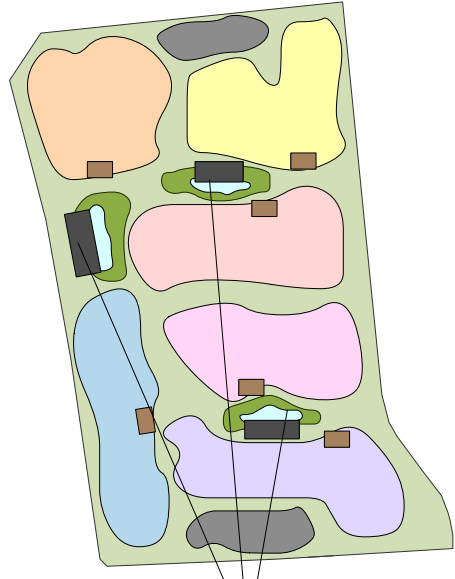
緑側コミュニティ



コアスペース
(共有空間)
1コモンに1箇所配置する



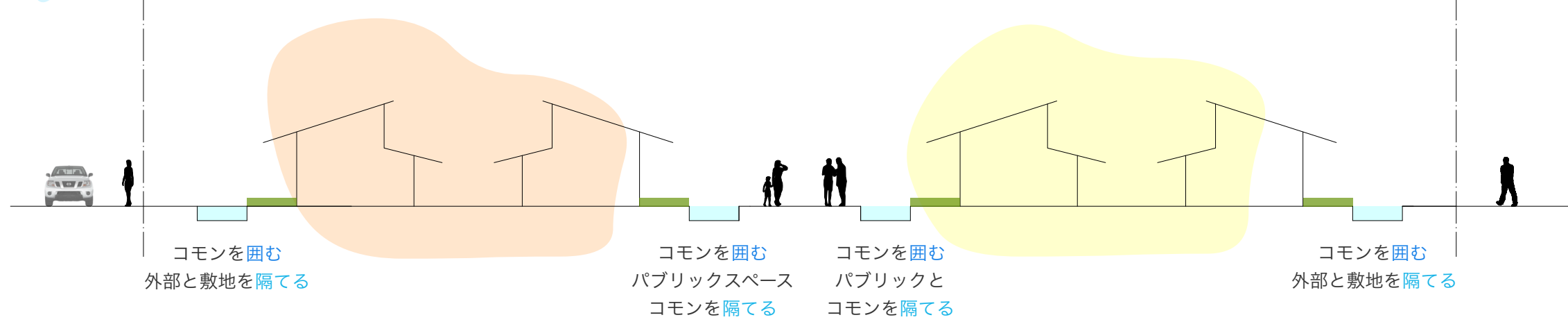
カーシェア (24台×2箇所)
ゴミ捨て場 (全2箇所)



親水空間
パブリックスペース
(銭湯、ジム、作業オフィス)

水辺の役割

水辺によって住宅同士は繋がりが離れ、柔らかな境界が生まれる



コモンを囲む
外部と敷地を隔てる

コモンを囲む
パブリックスペース
コモンを隔てる

コモンを囲む
パブリックと
コモンを隔てる

コモンを囲む
外部と敷地を隔てる



各コモンを囲み、パブリックスペースの前に貯まるように水路を巡らせ、
最終的に調節池へと流す経路をつくる。
水路の幅を変えることで、水辺に役割を与える。

全体配置図 1/1200

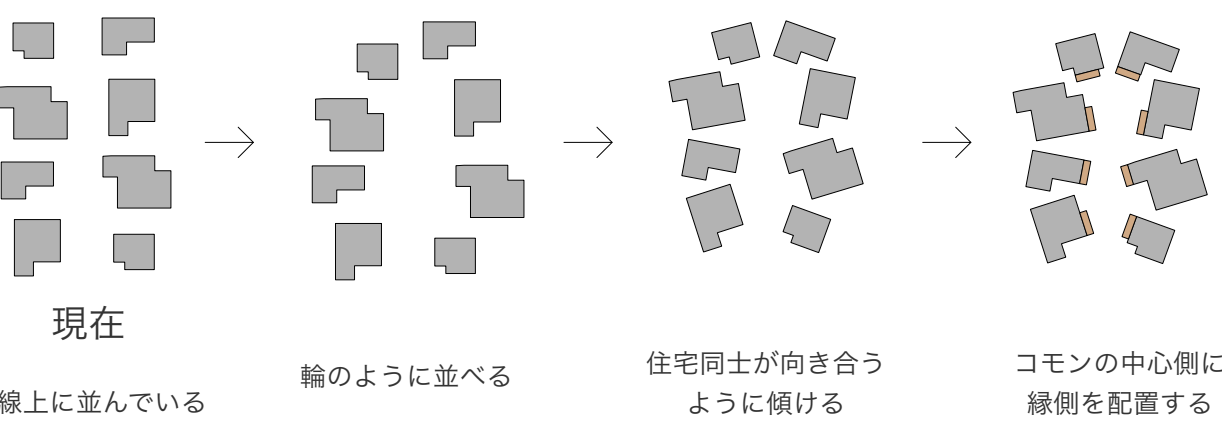


配置図兼1F詳細平面図 1/350



2F詳細平面図 1/350

住宅配置



現在

直線上に並んでいる

輪のように並べる

住宅同士が向き合う
ように横ける

コモンの中心側に
縁側を配置する



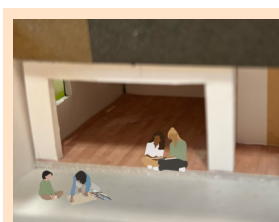
各住宅



水路が流れる専用庭



上部からも水を感じる
ことができる水辺デッキ



家の外と内を暖やかに
繋げる土間空間



コモン中心に向く縁側



屋根は縁側と縁側の対になるように庇を長く出して設置
土間空間には天窓を配置し、陽の光が空間全体を照らす

断面図 1/250

コアスペース ▶ 16世帯 = 1コモン



アーケードのようなデザインで住民を迎える



1コモンに1カ所配置

共同ダイニングキッチン、コインランドリー、
集合ポストがあり、共有することで住民同士が
顔を合わせやすくする

駐車場・ゴミ捨て場 ▶▶ 3コモン



道路側に配置
歩行者と車の道路を分離
車は全てカーシェアとする

パブリックスペース

▶▶ 全96世帯 = 6コモン



住宅地全体の共有空間である
親水空間と銭湯
水辺に来た人と銭湯を利用する人が
自然と交わる空間